2011年5月発行　手賀沼トラスト便り　第143号

-沼のほとり-

5月～7月の活動予定

○ 定例会の予定[　連絡先　原田(04－7149－6655)]

① 日時・場所:5月14日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ管理(田植えの準備等)(合同作業)
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など

② 日時・場所:5月21日(土)　8:30～14:00　　根戸城址集合
作業内容:田植え・糠散布、早苗饗(さなぶり)(合同作業)
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など
なお、田植え及び早苗饗を含め、当日は、参加費用500円を徴収させていただきますが、昼食(トン汁、ビール等含む)を用意していますので、各自昼食の用意は不要です。
また、当日アルコールを飲まれる方は、車の乗り入れをお控えください。

③ 日時・場所:6月1日(水)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ管理
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など

④ 日時・場所:6月19日(日)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ管理
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など

⑤ 日時・場所:7月6日(水)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ・樹林地管理
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など

⑥ 日時・場所:7月17日(日)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ・樹林地管理
準備するもの:長靴、軍手、帽子、飲み物など

次ページにつづく

○　農教室の予定[連絡先　浅妻(04－7190－5975)]

①　日時・場所:5月14日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
　臨時作業内容:田植えの準備作業など　　(合同作業)
　準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

②　日時・場所:5月21日(土)　8:30～14:00　　根戸城址集合
　定例会②に同じ

③　日時・場所:6月11日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
　作業内容:サツマイモ植え付けなど
　準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

④　日時・場所:6月25日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
　作業内容:夏野菜管理など
　準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

⑤　日時・場所:7月9日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
　作業内容:ジャガイモ収穫、カレーパーティーなど
　準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物、
　パーティー参加費用300円

⑥　日時・場所:7月23日(土)　8:30～12:00　　根戸城址集合
　作業内容:トウモロコシ収穫など
　準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

○　竹教室の予定[　連絡先　川瀬(04－7163－5723)]

①　日時・場所:6月18日(土)　9:00～12:00　　根戸城址集合

○　トラストサロン[　連絡先　坂巻(04－7183－2973)]

①　日時・場所:6月4日(土)　10:15～12:00
　講演課題:食の安全・安心と持続的農業　　ABIKOs(アビコス)
　講師:遠藤織り太郎　　ホール
　(10ページ地図参照)

②　手賀沼流域ファーラム:
　第2回案山子祭りを予定しています。日程については、後日
　連絡いたします。　振ってご参加ください。

活動　1　定例会の活動状況：　みかんの植替え、栗木の植付け及び田んぼ管理等

4月6日(日)定例会の活動報告　参加者19名

例年ですと、日暮さんの桜も満開なのですが、今年は3月の寒の戻りがあったためでしょうか、3分咲きといった風情でした。計画停電もなく、春うららかな6日に定例会を行いました。
みかん山チームと田んぼチームに分かれて作業開始です。　今年は、みかん山の手入れをすることが多いです。今回はみかんの木の植え替えを、始めに行ないました。　中央部にある柚子の木を端にずらして、空いたスペースにみかんを移植しました。丸井福祉会との合同作業は、震災の影響で残念ながら中止となりましたが、寄贈品は送りたいとありがたい申し出があり、その一環で栗の木を4本購入して、みかん山の上部に植えました。　将来は、栗山とみかん山とに分かれて呼ばれるかも知れませんね。　今年のみかんは、裏(なり年ではないとのこと)ということで、木の周囲に肥料をやって来年甘い実がたくさんつくように会員の金井さんの指導のもと剪定も実施しました。　10人前後で作業に当たったため、11時前には終了。　皆様、お疲れ様でした。きっと、今週末には日暮さんの桜も満開ですね。　(原田　記)

一方、田んぼの作業では、黒米及び赤米を植える田んぼを中心に、去年稲刈り後に2番穂の刈り取りを行いましたが、十分ではなかったので、今日その2番穂の刈り取りを再度行った。
刈り取りにはカマやクワ等の用具を使って行いました。　その後、田んぼを灌水するため、地下水をくみ上げるポンプを駆動させるのに苦労しました。　ポンプはガソリンで駆動させるものでしたが、水がなかなか上がってこず、四苦八苦しました。　また、各田んぼの畔道の修復も一部行いましたが、作業の時間の関係上、次回の定例会で再度行うこととなり、今日の作業は無事終了しました。　(浅妻　記)

マルイグループ福祉会より以下の寄贈品

チェーンソー　1台、チェーンソーオイル　1缶、小カマ　10本、クワ　5本、
三角ホー　3本、栗の木　4本、運搬用カート　2台

活動　2　第3回農教室の活動状況：水稲予措置等

4月10日（日）、晴れ、参加者　56名

今年度、初めての農教室に参加しました。 今年でトラスト活動に参加して5年目になりますが、「種もみの予措」は、初めての体験でした。 いつものとおり、遠藤先生がテキストに沿って、良い種もみを選ぶための手順について、丁寧に説明して頂きました。 熱心にメモを取る人も見られました。 それにしても、農業の用語は、使い慣れない漢字が多い。 もみ殻が大きく、玄米も充実していて重い種もみを選ぶのですが、方法は、初代東京大総長を務めた横井時敬（よこい・ときよし）：1860～1927が考案した塩水選と呼ばれる方法です。 塩水を使い、卵の浮き方で微妙な比重を割り出し、種もみの種類に応じて識別していきます。 浮いた軽いもみを、お玉ですくい取り、底に沈んだ、重い種もみだけ種まき用の種もみとして取りだします。 お玉をフラットにしてお玉の背の部分で種もみをやさしく押してやるのがコツのようでした。 種もみは塩水に浸かっているため、よく水洗いをした後、60度のお湯に5分間浸して滅菌します。 お湯につけることにより、イモチ病などの雑菌が完全に死滅するとのことです。 そのご、発芽を促進するため、含水量を高めるため、水につけます。 現行の含水量が15％ですから、後、10％給水させるとのこと。 浸種日数は、積算温度で測られ、100度、つまり、15度の水温なら、6日～7日必要との説明でした。 それにしても、昔の人の知恵には驚くばかりです。横井時敬の残した言葉に「稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け」があります。 この一年、田植え、夏の除草、秋の刈り取り、脱穀と米作りを楽しみたいと思います。　（平井　記）

予措についての講義風景

種もみの枝硬及び芒（のぎ）除去作業

よい種もみを選ぶため、塩水選を行っているところ

お湯(60℃)で種もみを5分消毒

次回農教室で使用する育苗箱の準備風景

雨のため、一日遅れ、4月10日の活動になりました。 遠藤先生より今日の作業の説明及び稲作八千年の歴史や米はミネラル豊富な完全食品である、等々、興味深いお話しがありました。さっそく、おいしいお米を作る最初の作業種もみの予措を行いました。 まずは、種もみの枝硬や芒を取りのぞく根気のいる細かい作業で、他の品種と混合しないように気をつけながら作業を進めました。 次に、塩水選でより良い種もみを選別します。 塩、卵、水で比重液作り、小学校の理科実験のようでした。 種もみを比重液につけ、浮いたもみを取りのぞくとあらーびっくり塩水の中でひまわりの種の様に整列した種もみ達にチョット感動！ 選別した種もみを水洗い、60℃のお湯に5分浸し消毒、さらに井戸水15℃に吸水のため浸水させ、今日の活動を終えました。 1本の稲穂に2000粒以上の実りがあると聞き、米作りに八十八の手間がかかることも納得しますね。 秋の実りが楽しみです。
最後に満開の桜の下、皆で記念写真 「ハイ ポーズ」 (小川 記)

種もみの予措講習終了後、満開のソメイヨシノ桜の下での記念撮影

活動　3　第4回農教室の活動状況：水稲播種等

4月16日（土）、晴れ、参加者53名

水稲の播種について、遠藤代表の講義が行われた。 講義では、播種の方法では、外国では直播が多く行われているが、日本は、育苗箱に育苗土を入れ、それに種もみを播いていく育苗方式が行われているとのことであった。 実習に移行して、平成22年度まで農教室のリーダーであった吉田さんも支援していただきながら、実際に、育苗箱に新聞紙を敷き、その上に育苗土を三分の二くらい入れ、その上に80g（3800粒）の種もみを均等にまき、その上に覆土を行い、全体の土の厚さが、3cmのになるように仕切り板を使用して調製を行った。 その後、上からジョーロで水をたっぷりかけ、田んぼにその育苗箱を一つづつ運び、プール育苗ができるようにセットされた場所に米の種類べつに並べ覆いをして今日の作業は終了となった。　（浅妻　記）

播種前、種もみの乾燥及び選別作業の風景

種もみを育苗土へ均一に播種している風景

種もみの播種終了後、灌水している風景

田んぼへ移送された種もみ入り育苗箱をプール育苗のためにセットされた真白いシートで覆われた種もみを見守る参会者達。“丈夫な苗が育ちますように”と祈りをささげているように見えました。

「冬水田んぼ米作りの」が出来上がりました。

原稿作者：遠藤代表
看板製作者：寺田副代表

活動　4　定例会の活動状況：田んぼ管理及び耕運機による畑の耕作実習

4月17日（日）定例会の活動報告　、快晴、20℃以上、参加者：24名

今日は、5月21日の田植えに向けての田んぼの整備として、畔側面への泥塗を行いました。全部で6面の田んぼすべての側面24面に泥土をたっぷり塗りつける作業でした。

最初、他の人がやっているのを見て、簡単な作業だと思っていましたが、実際、自分で行ってみると、クワにたっぷりに水を含んだ泥が重たくのしかかり、これを畔側面になんかいもなんかいも塗りつけているうち、腰のあたりにかなりの力がかかり、だんだん痛みを感じるようになり、これは大変な作業があることを実感しました。 壁塗りに対して、鈴木さんいわく「畔の側面10cmの部分をクワで土を掘り、その土を水でこね、こねた泥を畔側面に強く押し付けてから塗りつけでいけば、そんなに苦労することなく、泥塗りができる」とのことでした。 寺田さんは、「畔の上から、泥を畔側面に泥を塗りつけるとうまく泥塗ができる」とのことでした。 泥塗りの方法にもいろいろあるようです。 また、田んぼに水が十分灌水されていない場合、最初に畔に沿って、溝を掘り、その溝にそって、水を流しこみながら、畔側面に泥塗りを行うとうまくいくようです。

（浅妻　記）

田畑整備チームの活動状況

田んぼの整備以外の作業として、耕運機の講習を兼ねて、日暮さんを講師として、田畑整備チームによる3つ畑を耕し、4月23日の農教室でトウモロコシやサイモ等を作付するために土地の耕作が無事終了しました。 田畑整備チームの機械操作もかなり上手になってきているようです。 今後、作物栽培に欠かせない土作りに大いに寄与されるもと思います。（浅妻　記）

活動　5　臨時総会及びＮＰＯ法人設立総会

臨時総会･NPO 法人手賀沼ﾄﾗｽﾄ設立総会（報告）

4 月 20 日（水）、10 時から 11 時 30 分まで、けやきプラザ 9 階ホールに於いて手賀沼ﾄﾗｽﾄ（任意団体）の臨時総会と NPO 法人手賀沼ﾄﾗｽﾄ設立総会が、議決権のある会員 153 名のうち、41 名の方が出席し、81 名の方が委任状を提出して開催されました。 開会にあたり、遠藤織太郎氏を議長に選任し、臨時総会では、NPO 法人手賀沼ﾄﾗｽﾄが設立認証を取得し法人登記完了後に手賀沼ﾄﾗｽﾄ（任意団体）を解散すること、解散にあたって清算人を選任すること、残余財産を NPO 法人手賀沼ﾄﾗｽﾄに寄付することについて審議した結果、全員異議なく承認されました。 引続き行なわれた NPO 法人手賀沼ﾄﾗｽﾄ設立総会では、設立趣旨、定款、役員、事業計画及び収支予算等 9 件の議案が審議され、全員異議なく承認されました。その他、NPO 法人取得後の組織･分掌について審議され、全員異議なく承認されました。これを受けて、4 月 25 日に所轄庁（千葉県）に NPO 法人設立認証申請書を提出し、同日、受理されました。6 月 24 日までの縦覧期間を経て、7 月中旬から下旬に法人が成立する見込みです。

（國方　記）

活動　6　第5回農教室の活動状況：ﾄｳﾓﾛｺｼ播種等

4月24日（日）、晴れ、参加者58名

第5回農教室は、昨日の雨のため1日遅れとなりました。 農教室の冒頭、國方さんより、4月20日行われた臨時総会及びＮＰＯ法人設立総会に関する報告がありました。 その後、遠藤先生より 「4月16日に播種した水稲が出芽しました。 これから14～15日後、シートを外し、プール育苗を行うことになる。」との報告があり、嬉しくなりました。

高井さんからは、「ﾄｳﾓﾛｺｼは風媒花であり、自家受粉しないので複数列に播種し、1列のみの播種は行われない」、中澤さんからは、「ｻﾄｲﾓは、芋の上下に注意して植えるように」、及び浅妻さんからは、ネギの成分･効能等についての説明がありました。 また、それぞれの作物の畝作り、杖付け、覆土の作業についても説明がありました。

まずは、参加者全員で作業開始です。九条ネギの植付けです。同時に畑廻りの除草を行いました。 安倍チームは、ｻﾄｲﾓの植付けです。 畑はﾐｶﾝ山側の畑の一角です。 日暮さんは畝作りを手伝って下さいました。 この時の鍬の扱い方が、軽やかに、ﾘｽﾞﾐｶﾙで美しいことに驚きました。 ﾄｳﾓﾛｺｼの播種では、畝の数が多いので一つ一つ確認しながらの作業となり、ました。先輩の御指導のもと無事作業をおえました。出芽するのが待たれます。 この度小学校五年生の孫は、田作りの係になりました。 学校での予措の様子を楽しく聞かせてくれました。これから稲の様子を聞くことが楽しみになりました。 毎回の授業･作業は充実しております。一年間皆様と共に楽しく活動できることを願っております。　　（石井　記）

活動　7　日本蜂蜜部会の活動状況

1. 梨畑で日本蜜蜂の分蜂

今朝、梨畑で分蜂していましたので、お借りした巣箱の中に入れてみました。

昼現在、外に蜂の塊がなく蜂が巣箱を出入りしていますので、巣箱を選んでくれたのではないかと思われます。 あと十日から二週間は梨の花が咲いていますのでこのままナシ畑に置いていただければ幸いです。(杉野　記)

なお、現在、この巣箱は、日暮宅の桜木の下に移管されました。

2. 根戸城址の日本蜜蜂も分蜂に動き出すか。

とうとう動き出しました！　今日、巣箱内を点検したところ、雄蜂の巣房の蓋がいくつか落ちていました。雄蜂の蓋は円盤状で、真中に小さな穴が開いています。この蓋が落ちているということは、雄蜂の誕生を意味します。物の本によると、蓋があいてから10日ほどで雄蜂が飛び始め、さらに10日ほどで分蜂が始まるそうです。ということは、五月の連休明けごろに分蜂開始ということですが、分蜂に先立って探索蜂が新しい巣を探し始めますから、部会員のみなさんは、見晴らしの巣と待ち箱の観察を強化してください。待ち箱にはもう一度蜜蝋を塗ってください。(なんだか緊急地震警報みたいですね) よろしくお願いいたします。 なお、杉野さんの捕獲した蜂は、梨の消毒が始まるので、根戸城址の桜の大木の下に移動しました。 さらに、杉野さんのところへトラストの箱をもう一つと私の箱をもう一つ持っていきます。 杉野さんのところで柳の下の泥鰌ならぬ梨の下の蜂をもう2～3群ともくろんでいます。　(冨澤　記)

お知らせ-1

今年もやります『感謝の宴』‼

「蕎麦打ち勉強会」は今年から『蕎麦勉強会』に会の名称を変えました。蕎麦打ちの腕前も、長足の進歩を遂げた人、そこそこ打てるようになった人、先天的にダメな人と色々ですが和気藹々とやってます。

今年は『打つ』だけでなく『蕎麦』について奥義を極めたいと思っております。一方、『男の手料理』は料理人を目指す人が増え、益々磨きがかかってきました。

日頃、献身的に会のお世話をして下さっている女性会員の皆様に、是非成果を見て頂きたいと思います。ほんのひと時ですが、家事を忘れてお楽しみください。(國方　記)

と　き：6 月 15 日 (水) 13 時 30 分～15 時 30 分
ところ：けやきプラザ 8 階 (調理室、第 1 会議室)
申込先：5 月 31 日 (火) までに川瀬さんにお申込ください。(TEL:04-7163-5723)
見　学：当日は9時から準備してます。**「見学 OK」但し、手出し無用 ‼**

お知らせ-2

「運営スタッフ」募集のお知らせ

現役バリバリの皆さん！

現役を卒業したお父さん！

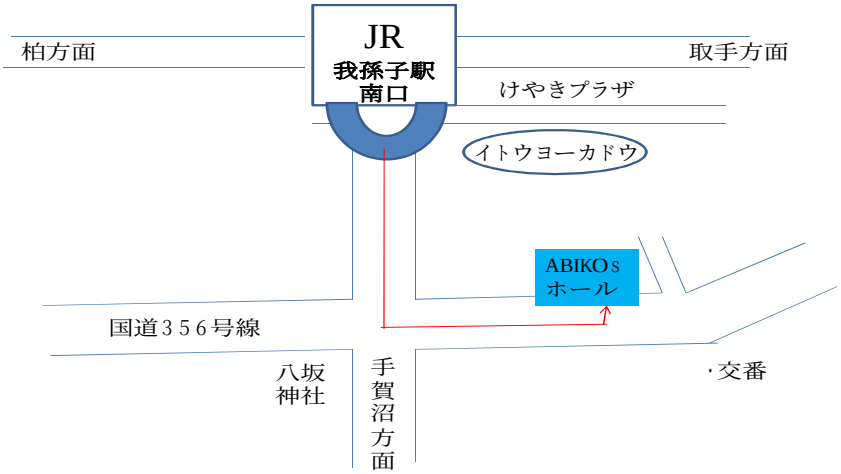
子育て終わったお母さん！

トラストの活動にあなたの「得意技」を活かして見ませんか!!

昨年（2010 年）は**“プロボノ元年”**と言われました。プロボノとは「各分野の専門家が職業上持っている知識、スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般」（ウィキペディア）を言うようです。 昨今、現役世代はもとより、シニア世代の間でも新しい社会貢献のあり方として注目されています。 手賀沼トラストは法人格を取得することで、今までより一層、活動の拡大と充実を目指して一歩踏み出します。 そのためには、会員の皆さんの協力が欠かせません。皆さんがお持ちの「**得意技**」（専門知識、技術、技能、資格、経験等）を会の活動に役立てて下さる「**運営スタッフ**」を募集します。 例えば、広報誌の編集・ホームページ・ブログでの情報発信や更新・管理等の広報活動、会計・税務、契約などの法務、企画・調査、マーケティング、土壌調査や田畑の生物調査、農業・林業用機械・器具・車両等の操作、作業の安全管理や救急・救命、料理・調理、工作工芸、絵画、写真、デザイン等々です。大勢の方の応募をお待ちしております。

連絡先：國方幸生（TEL：04－7184－3385、e-mail：kymst315@nifty.com）

ABIKOｓ　ホール地図



編集・発行　手賀沼トラスト事務局　〒270－1168　我孫子市根戸1349
TEL　090－6499－0189（原田）　E-mail：teganuma-t@mail.goo.ne.jp
ホームページ　http://www.geocities.jp/teganuma_trust/
ブログ　http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/